

【実施報告】2025年11月11日 「藻場のジグソーパズルを活用した授業 ～海辺の環境教育フォーラム2025in南房総にて～」

八木澤潮音（海の環境教育NPO bridge）



概要

2025年11月10日(月)～12日(水)に、第18回海辺の環境教育フォーラムが千葉県南房総市大房岬自然の家にて開催されました。

今回のフォーラムテーマは「学校へ行こう！海の学びを教室へ」です。全国各地で海辺の環境教育に取り組む人々が集い、地域の小中学校へ訪れ海に関する授業をする中で、学校教育と環境教育の連携を模索することを目的に行われました。

海の環境教育NPO bridgeも、できたてほやほやのLAB to CLASS新教材「藻場のジグソーパズル」を活用し、授業を実施させていただきました。

◆ねらい：「他の地域の海と森のつながりと取り組みを知ろう」

◆目標：

森と海のつながり(水の循環)を理解する。

千葉県とは異なる地域の森と海のつながりについて学ぶ。

※本授業のねらい・目標は、事前に海辺の環境教育フォーラム実行委員と小学校の先生方で打合せを行い、事前・事後学習の内容も踏まえ設定いただきました。

◆実施場所：千葉県南房総市立富山学園

◆実施日時：2025年11月11日(火) 9:25～10:10

◆参加者：小学5年生 30名

◆使用教材：

海洋学習教材 LAB to CLASS <https://lab2c.net>

藻場のジグソーパズル

◎活動の様子

【事前準備】



まずは海辺の環境教育フォーラム参加者のみなさんへ授業内容や藻場のジグソーパズル教材について紹介しました。

小学5年生へ授業をするために、3名のサポートメンバーが集まりました。そして藻場のジグソーパズルを体験。大人でも盛り上がる楽しい時間です。

授業の流れや小道具を出すタイミング、板書の内容、児童への声かけなどを打ち合わせしました。

【授業の様子】

・導入（15分）

児童一人ひとりにパズルの一片を配布し、描かれた内容や場所について想像してもらいました。近くの児童同士で絵を見せ合い盛り上がる様子も見られました。

いざ、全員でジグソーパズル制作！



声をかけあいながら、事前にみんなで設定した目標時間内に完成させることができました。大人数ですがチームワーク抜群です！



完成後、パズルの絵を見ながら、海藻や海草が生える「藻場」には多くの生き物が暮らしていること、その理由（食べ物や隠れ場所の多さ）について紹介しました。

・「富山にあるもの、ないもの」を探す活動（15分）

完成したパズルの絵を見ながら、南房総市富山にあるもの・ないものを探します。



パズルの絵のモデルになっているのは福岡県北九州市。千葉県南房総市との違いは何だろう？

海の生き物や海藻はどちらにも共通しているね。工場やビル、風力発電は富山にはないよ。太陽や空気はどっちにもある！だんだん視野が広がっていきます。

続いてクイズ！

「目にはみえないけど、富山にも北九州市にもあるものなんだ？みんなが一度習ったことがあるものだよ」

う〜んと考える子どもたち。
ヒントとなる＜矢印マーク＞の小道具を出しました。矢印をパズルの上に並べていくと・・・



「あ！わかった！水の流れだ！」大正解。

児童は事前学習で森から海までの水の循環を学んでいたこともあり、改めて水の流れを思い出すことができました。

クイズの答えはもうひとつあります。ヒントの小道具は＜栄養＞と書かれた丸いマーク。

海藻や海草が育つためには栄養が必要。この栄養はどこからやってくるのかな？



「わかった、森だ！」大正解です。

富山にも北九州にも共通する「森から海へのつながり」について、理解を深めることができました。

・発展 北九州市の海の歴史について（10分）

実はたった60年ほど前、北九州市には「死の海」と呼ばれる場所がありました。パズルの絵にも描かれている場所です。

その理由は、工場排水や生活排水をそのまま海へ流していたからです。空は七色の煙と呼ばれるほど汚れ、海は生き物が住むことができない「死の海」と呼ばれるようになってしまいました。



みんなと同じ年の子どもたちが、外で遊ぶこともできないほど空気も海も汚れていた…その事実を、児童は静かにショックを受けていました。

しかし今ではきれいな空と海が戻っています。その理由は、お母さんやお父さん、工場の人、役場の人、研究者や専門家など、いろんな人たちが力を合わせてきれいな海と空を取り戻そうと頑張ったからです。

話をしながら、児童にはパズル上に置いた「汚れ」をひとつずつ取り除いてもらい、矢印カードが示す「水の流れ」を思い出してもらいました。



森から海への水の循環も、きれいな海を取り戻すために大事な役割をしていたことを伝え、北九州市ならではの歴史と水の循環について学びを深めました。



・まとめ (5分)

授業の最後には、富山にはなくて北九州市にある「洋上風力発電」を紹介しました。さまざまなつながりを想像しながら、洋上風力発電が自然環境に与える影響や、持続可能なエネルギーのあり方について、考えるヒントになればと思います。



◎児童の感想

- ・いろいろな人が協力して海をきれいにしたことがわかりました。海を大切にしていきたいです。
- ・これからは海とのつながりを考えて行動していきたいです。
- ・ジグソーパズルを見て、海にはいろんな生き物がいることや流れる水のはたらきの仕組みを知って面白いなと思いました。
- ・パズルで最高新記録をだしてうれしかったです。
- ・みんなで協力してジグソーパズルを完成させるのはむずかしかったけど、みんなとのチーム力があがってとっても楽しかったです。
- ・風力発電はどうやって建てられているかなど新しく知ったことがたくさんありました。海のことについてもっと知りたいと思いました。
- ・ジグソーパズルをやって山、海、空が全てつながっていることがわかりました。
- ・目に見えない自然の大切なものがよくわかりました。
- ・これからは今よりもきれいな海になってほしいから自然のことを考えて行動していきます。
- ・海をきれいにするためには人々の努力がかかせないということがわかりました。

◎実施後の感想 (実施者：海的环境教育NPO bridge／担当 八木澤)

子どもたちにパズルのピースを渡すと興味津々で、声をかけ合いながらチームワークよくパズルを完成させていたことが印象的でした。藻場のジグソーパズルをアイスブレイクとして活用することで、子どもたちの興味関心が高まり、森と海との繋がりについてより深く考える機会にできたと感じています。

公害汚染で海が汚れてしまった過去の話にはショックを受けながらも、そこからどのように人々が自然と向き合いきれいな海を取り戻したのかを伝えました。今もさまざまな環境問題がありますが、人々が力を合わせて行動することで未来はよくなるというメッセージになっていれば嬉しく思います。富山学園の皆さま、海辺の環境教育フォーラム関係者の皆さま、貴重な機会をありがとうございました。

団体名・氏名	LAB to CLASS 八木澤潮音			
実施場所	南房総市立富山小学校 5学年教室			
実施時間	9:25～10:10 (2時間目)			
実施クラス	5年30名			
ねらい・目標	「他の地域の海と森のつながりと取り組みを知ろう」 森と海のつながり(水の循環)を理解する。 他の地域の取り組みを知る。			
プログラムの概要	【事前】富山(阿加井、岩井川、平郡川、岩井海岸)の海と森のつながりを知る。 【本時】他の地域の海と森のつながりと取り組み 【事後】地域の海と森のためにできることを考えよう。(担任実施)			
関連する教科と領域 単元・題材名	総合 (富山学)	ぼく私の考える、これからの岩井海岸		
	社会科	私たちの生活と森林		
本時の展開	導入 15分	①自己紹介 ②「藻場のジグソーパズル」 福岡県北九州市周辺の海の様子を知ろう。	1)1人1枚パズルを見て、何が描かれているか、どのような場所か想像する 2)全員でジグソーパズルを完成させる ※早めにピースを置き終わった子に余りのピースを渡す 3)パズル完成後、自分のピースがどの場所にあるかを確認する	
	展開 15分	「富山にあるもの・ないもの探し」	1)パズルを見ながら、富山にあるもの・ないものを探す。 2)富山にあるもの・ないものをそれぞれ発表してもらう ある:ワカメ(海藻) ない:風車、工場 3)森から海のつながり水の循環の話	・板書する
	まとめ 10分	①「北九州市の海のお話～死の海からの復活～」 ②感想・質問	・開発と公害の歴史について ・死の海からの再生について →森から海への水の循環と、住民・行政・企業の連携が肝だった ・今の海と新たな課題 洋上風力発電について	